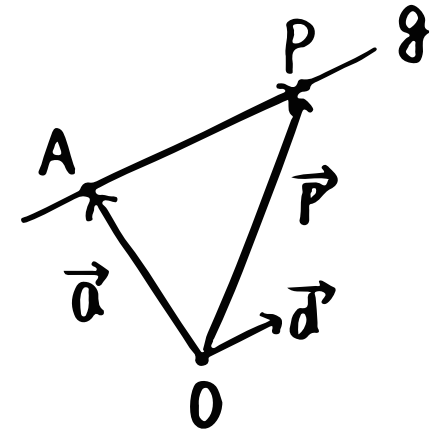


## 数B (ベクトル方程式 ①)

- ④ 点A( $\vec{a}$ )を通り、 $\vec{d}$  ( $\neq \vec{0}$ )に平行な直線を $g$ とすると、直線 $g$ 上の任意の点P( $\vec{p}$ )は  $\vec{p} = \vec{a} + t\vec{d}$  となり、これをベクトル方程式、 $t$ を媒介変数という。また、 $P(x, y)$ 、 $A(x_1, y_1)$ 、 $\vec{d} = (d_1, d_2)$ とすると、左のように表すことができ、これを直線 $g$ の媒介変数表示という。
- $$\begin{cases} x = x_1 + td_1 \\ y = y_1 + td_2 \end{cases}$$



⑤ 次の点Aを通り、 $\vec{d}$ が方向ベクトルである直線の媒介変数表示を、媒介変数 $t$ を用いて求めよう。また、 $t$ を消去した直線の方程式を求めよう。

④  $A(2, -3)$ 、 $\vec{d} = (-1, 2)$

⑤  $A(1, -2)$ 、 $\vec{d} = (-2, 3)$